



# 環境配慮報告書 2022

東京エレクトロン宮城株式会社



# 環境マネジメントシステム

## 環境方針

東京エレクトロングループでは ISO14001 を統合し、一括認証しています。

以下に東京エレクトロングループの環境方針を示します。

## ◆ 東京エレクトロングループ 環境方針 ◆

### ① 環境目標と継続的改善

環境目標を設定し、製品ライフサイクルの環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

### ② 法令等の遵守

環境関連の法令を遵守するだけでなく、環境問題を幅広く調査し、自主基準などを制定します。

### ③ 製品での環境貢献

最先端技術を駆使し、環境適合型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、環境問題の未然防止と改善に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

### ④ 事業活動での環境負荷低減

事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的に行い、汚染の予防と環境保護に努めます。

### ⑤ 社会との連携・協力

ステークホルダーとの共通理解のもと、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

2016年7月1日改訂

## 第三者保証

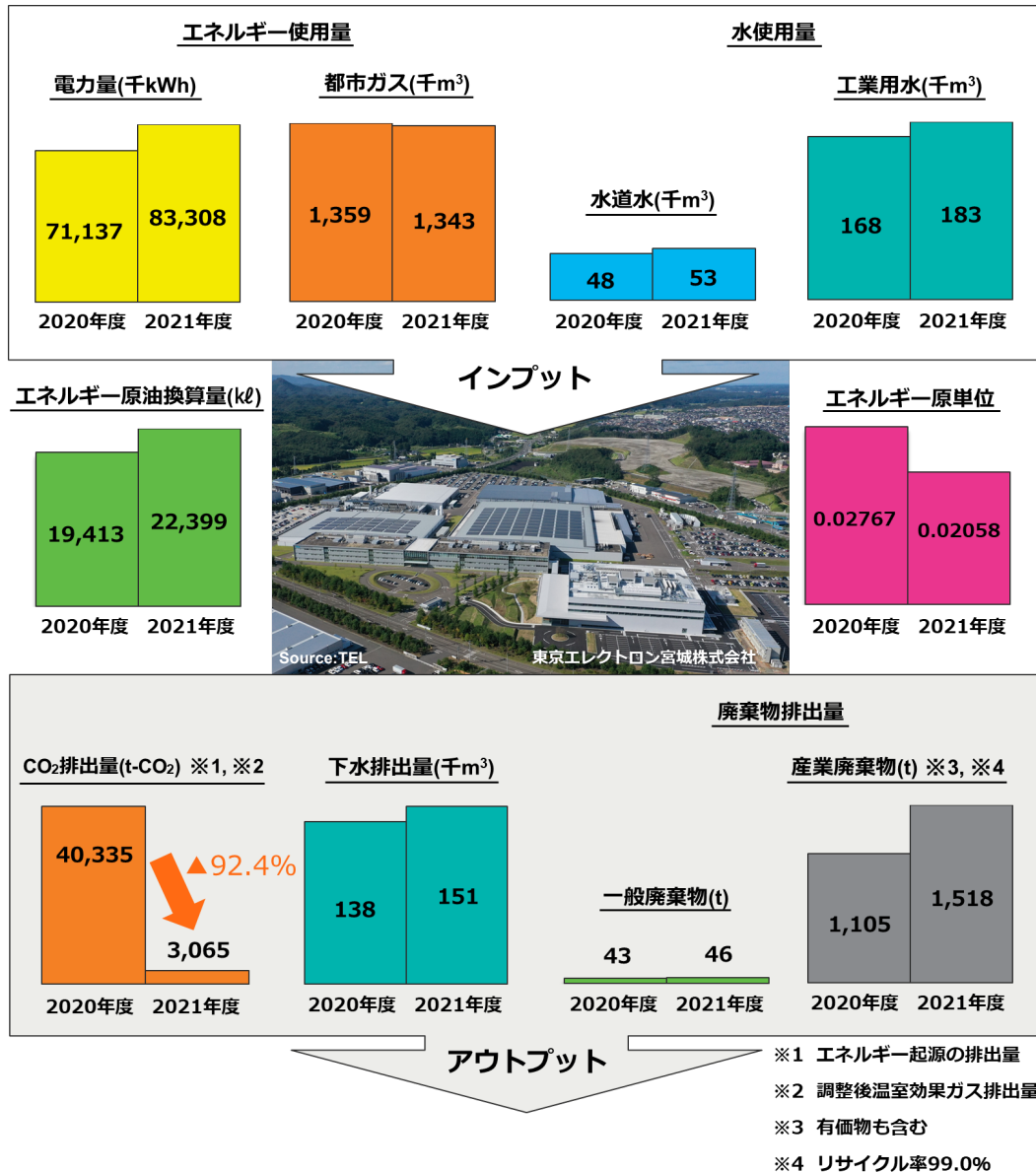
環境情報のデータ管理の精度向上や報告内容の信頼性向上のため、環境データ（エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量、水使用量）について、第三者による保証を受けています。

# 東京エレクトロン宮城（株）の環境実績データの報告

東京エレクトロン宮城（株）の2021年度の環境負荷・環境配慮についてご報告いたします。

2021年度は宮城技術革新センターが竣工いたしました。開発体制強化も継続しており開発棟および第二開発棟への開発用装置と用力設備の増設をおこないました。従業員も3500人を超えその結果電力量は17.1%増加しました。一方都市ガスの使用量は昨年度より微減しました。電力量の増加により使用エネルギーの原油換算量は15.4%増加しましたが、半導体市場の旺盛な成長により生産台数が過去最高となったためにエネルギーの使用に係る原単位は過去最低とすることができました。

産業廃棄物につきましては総排出量1,518tで37.4%増加しました。生産増加に伴う紙類、廃プラスチック類、木枠類の廃棄量が増加したと開発装置入れ替えなどに伴う金属類の廃棄量が増加したためです。単純焼却としていた一部の廃プラスチック類をサーマルリサイクルすることにより、産業廃棄物のリサイクル率を98.2%から99.0%に改善させることができました。電力量は増加しておりますが購入する電力は100%グリーン電力にしましたので、調整後温室効果ガス排出量で比較するとCO<sub>2</sub>排出量は92.4%の減少となりました。今後も環境配慮を継続して実践するとともに開発と生産の両面で半導体市場の成長とステークホルダーからの期待に応えることを目指してまいります。



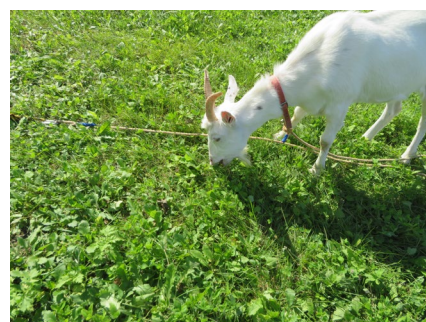
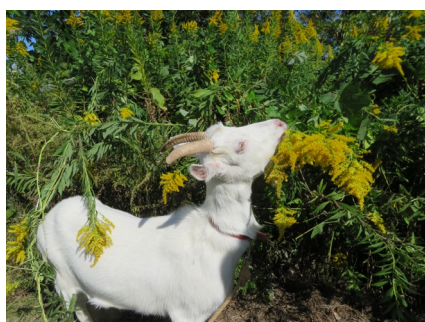
## 環境活動

2021年度も『みやぎの里山林協働再生支援事業』に参画し、新型コロナウイルスに配慮して少人数で大和町宮床の『東京エレクトロンの森』の森づくり活動をおこないました。植樹以外にも枯損木の除伐、遊歩道の整備をおこないました。除伐した枯損木は大和町の小・中学校の教材として活用していただきました。2017年度からおこなっている活動ですが、その成果としてトンボや蝶が増えております。枯損木の多い森を改善させるために来年度以降も森づくりを継続いたします。



Source:TEL

生物多様性活動としてヤギによる敷地内の除草活動も継続しています。2020年度、2021年度に除草に来てたくさんの草を食べて成長したヤギが子供を産みました。今年度はその子ヤギに除草をしていただくことを計画しています。



Source:TEL

二酸化炭素排出量を削減する活動として食堂から排出された廃油をバイオディーゼル燃料（BDF）の原料とするために提供することも継続しています。2021年度は2,193ℓ提供しました。今年度は食堂から排出された廃油から作られたBDF全てを社内ディーゼル発電機にて活用し、事業所の電気をつくることを計画しています。

電力会社からのデマンドレスポンス(※)の要請への協力もおこないました。2021年度は合計で9回の要請があり、合計で49,127kWhの受電電力削減に協力することができました。地震の影響で3月22日に東北電力管内で電力需給ひっ迫警報が発令となり、緊急のデマンドレスポンス発動となりました。その際も社内ガス発電機とディーゼル発電機の運転、社内の廊下などの暖房を停止させるなどして可能な限り受電電力削減に協力しました。

(※電力会社の電力需給状況が厳しい際に電力会社からの要請を受け社内発電機を運転などおこない電力会社からの受電電力削減をおこなうこと)

東京エレクトロン宮城株式会社 環境安全推進室  
〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ1番

Tel : 022-346-3111 URL : <https://www.tel.co.jp/about/locations/tml.html>

発行 : 2022年6月